

Akio Harada × Hirokazu Nakagawa

Art Project

Whispers in the Cracks

– Connecting Worlds through Pla-tsugi

アートのまち倉敷

アートプロジェクト

# すきまにひそむ物語

—プラ継ぎでつながる世界—

原田明夫

ナカガワヒロカズ

やぶれめは、創造のはじまり。

タコとともにすきまから世界をつなぐ。

2025.9.20 〈土〉～9.25 〈木〉

場所：倉敷物語館（中庭、和室1、和室2、長屋門）  
岡山県倉敷市阿知2丁目23-18

日時：9.20 【17:00～20:30】

9.21～9.25 【9:00～21:00】

入場：無料

展示内容：作品展示、プロジェクションマッピング、  
参加型インスタレーション作品



9.20

18:00～20:30  
プロジェクション  
マッピング  
開催

ハートランド倉敷共催イベント

主催：「アートのまち倉敷」実行委員会

協力：倉敷芸術科学大学原田明夫研究室、中川浩一研究室

お問い合わせ先：「アートのまち倉敷」実行委員会事務局 086-426-3411（倉敷市観光課内）

## アートプロジェクト

### すきまにひそむ物語

—プラ継ぎでつながる世界—

2025.9.20 〈土〉～9.25 〈木〉

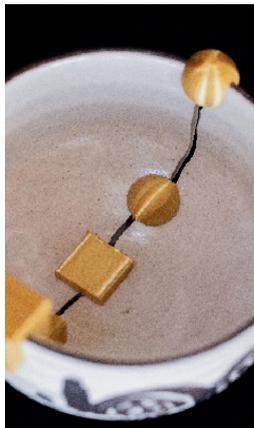
ワークショップの参加者と協働で制作したインスタレーション展示  
原田明夫のプラ継ぎによるインスタレーション展示  
ナカガワヒロカズのプロジェクションマッピングによる展示

場所：倉敷物語館 鑑賞時間：9:00～21:00

※庭と建物のプロジェクションマッピングは、9月20日18:00に開催

### プラ継ぎとは？

「プラ継ぎ (Pla-tsugi)」は、アーティスト・原田明夫が、日本の伝統的な修復技法「金継ぎ」、「呼継ぎ」から着想を得て生み出した新しい表現手法です。異なる素材や技術で破片をつなぎ合わせ、単に元の形に戻すのではなく、異なる時間や質感をもつ断片が新たな価値として再構成されます。「壊れたものにこそ、未来をつなぐ力がある」という発想から生まれた、創造的な修復技術です。



「プラ継ぎ」原田明夫



「ドローイング1」原田明夫



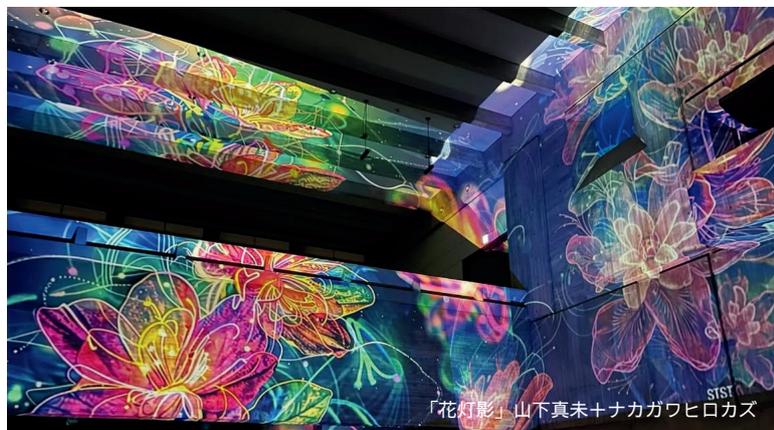
「ドローイング2」原田明夫

### タコがつなぐやぶれめ

このプロジェクトでは、倉敷市下津井の名産「タコ」を、やぶれた紙の“すきま”をつなぐ存在として見立て、「プラ継ぎ」の技法と融合させた新たな作品群を展開します。激しい海流に育まれた下津井のタコは、その短く太い足で隙間にしっかり張りつく力強さを持ち、“やぶれめ”を包みこみ、結び直す存在として「プラ継ぎ」の中心を担います。こどもたちや市民によるスケッチからデジタルアニメーションを制作し、3Dプリンターで立体化されたいきものたちが、倉敷物語館のすきまに現れます。

### アートとテクノロジーの共創

このプロジェクトでは、アニメーター/テクノロジーアーティストのナカガワヒロカズとともに、プラ継ぎの世界観をさらに拡張しています。原田明夫とナカガワが協働し、アニメーション表現や映像技術を取り入れながら、ワークショップや展示のオープニングにおいて、没入感あふれる“つながりの世界”を創出。アートとテクノロジーが融合することで、より深い体験として観客に届けます。



「花灯影」山下真未+ナカガワヒロカズ

### アーティスト紹介

#### 原田明夫

アーティスト。倉敷芸術科学大学 芸術学部芸術学科准教授。  
SIGGRAPH Asia 2024 Tokyo Art Galleryにて「プラ継ぎ」を発表。  
神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond 参加。

令和5年度 文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業 採択。  
プラ継、金継、呼継といった「継ぎ」の技術や思想を基軸に、  
VR・XR・Digital Fabricationを用いた作品を展開している。

#### ナカガワヒロカズ

アニメーター/テクノロジーアーティスト。倉敷芸術科学大学 芸術学部 教授。  
CMアニメーションを多数手がけるほか教育番組コンテンツにも参加。「マロニーちゃん」「ヒガシマルうどんスープ」「ストレッチマン」など  
またテクノロジーとアニメーション技術を融合しプロジェクションマッピングやインタラクティブな映像インスタレーションを美術館等で展示している。  
倉敷市立美術館「花灯影」(2025.3)、今治玉川近代美術館/大三島美術館/野間仁根バラのミュージアム3館合同企画プロジェクションマッピング (2024.12) など



会場：倉敷物語館

住所：岡山県倉敷市阿知2丁目23-18  
美観地区の入り口にある長屋門が目印

#### 会場までの経路

【徒歩】JR倉敷駅(山陽本線)南口より徒歩約12～15分

【バス】JR倉敷駅から「大原美術館前」または「あちてらす倉敷前」下車、いずれも徒歩約2～3分

【自動車】山陽自動車道「倉敷IC」または瀬戸中央道「早島IC」から約20分

※物語館に駐車場はありません。周辺の有料駐車場「倉敷市中央駐車場」などをご利用ください。

交通アクセス詳細：QRコード参照

お問い合わせ先：「アートのまち倉敷」実行委員会事務局  
086-426-3411 (倉敷市観光課内)

